

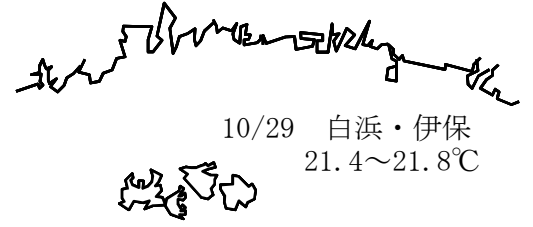
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 3 号)

平成30年11月2日発行
 兵庫のみ研究所

前回 (10/24) 調査において多く発生していた珪藻は、一部漁場を除き地先および沖合漁場とも減少しています。窒素は地先漁場で一部を除き 7~9 $\mu\text{g at / L}$ 台、沖合漁場で概ね 6~8 $\mu\text{g at / L}$ 台と平年より高い値となっています。

(栄養塩、珪藻) 伊保・白浜漁場では肉眼視される数種の珪藻が多く発生しており、窒素は 4 $\mu\text{g at / L}$ 前後とやや低い値であった。それ以外の地先漁場においてこれら珪藻は減少しており、確認されるものの例年と比較し少ない状況。沖合漁場においては散見される程度にまで減少しており、窒素は地先・沖合漁場ともに 6 $\mu\text{g at / L}$ 以上であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	6.4	6.7	5.0	7.7
	リン	0.55	0.63	0.58	0.74
家島・坊勢	窒素	4.4	7.2	5.6	6.9
	リン	0.53	0.70	0.69	0.77

(10/24) (11/7)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年11月2日調査

